

大江学園 H30 年度 自己評価について 【考察】

支援向上委員会

平成 30 年度実施分の大江学園自己評価について、集計結果を受け考察を行い次年度以降の繋げることとする。

実施期間：平成 30 年 11 月 19 日～11 月 30 日

対象：大江学園職員(非常勤を含む)34 名 配布:34 部 回収:34 部

◆自己評価集計結果に基づき、数値的に低水準な項目と、前年度比較において増減の大きかった項目について、いったんの考察を行う。

【低水準の項目】…過半数が A 評価でない項目を指す。

10 番…必要な人員や、就業状況を把握し必要に応じて改善する仕組みがある。+36%

◎今回は低水準の項目として挙げたのが、10 番のみでした。昨年の自己評価では 4 項目(6 番、9 番、10 番、36 番)が低水準として挙がっていました。数値としては大きく改善が見られています。今回低水準として挙げた 10 番の項目も過半数が A 評価とはならなかったものの、昨年比+36%と大幅な改善となっています。

【変動が大きかった項目】…30%及び 20%以上の増減があった項目を指す。

【増】(30%以上の増)

10 番…必要な人員や、就業状況を把握し必要に応じて改善する仕組みがある。(47%) +36%

11 番…職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。(85%) +34%

【増】(20%以上の増)

3 番…中・長期的な計画を踏まえた事業計画が策定されている。(91%) +28%

5 番…管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。(88%) +22%

6 番…業務の質の向上や、効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。(59%) +25%

7 番…管理者は利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている。(79%) +25%

9 番…人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。(68%) +25%

12 番…職員の教育・研修が計画的に実施され、定期的な見直しも行われている。(71%) +20%

13 番…実習生の受け入れと育成を、積極的に行っている。(97%) +20%

24 番…施設内で虐待事案が発生した場合の再発防止策を、具体的に文章化している。(91%) +25%

36 番…利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。(68%) +25%

51 番…嗜好品(タバコ、酒等)については、健康上の影響等を考慮した上で、利用者の意思や希望が尊重されている。(97%) +20%

【減】

今回 20%以上の減はない。マイナスに転じた項目は 8 項目。(10%以上の減)…1 項目。

43 番…理髪店や美容院の利用について、利用者の好みを尊重した支援を行っている。(59%) -15%

★平成 29 年度の自己評価をうけて、30 年度内の取り組みとして項目 34 番、14 番と 25 番について取り組みを行ってきたが、大幅な改善には至っていないものの、いずれの項目もプラスに繋がっている。(34 番:+11%、 14 番:+14%、 25 番:+8%)

今回の自己評価については、第二大江学園の数値の様な大幅なプラスは見られなかったものの、大江学園においても可なりプラスの数値が見られているのは、渡辺課長の考察にあるところの要因は大きくものと感じる。

大江学園のみの項目別考察としては、43 番の-15%を含め、8 項目がマイナスになっており、支援者の人材(人手)及びスキルの不足が、個別支援の評価に反映されているものだと感じている。自己評価全体をみると、今回記名式にしたメリットは大きいと考えられ、支援者の幅広い成長へ繋がるものであり、そのことが子ども達、利用者の人達の支援の向上に直接的に反映される。自己評価の主旨と意義を再確認し、より良い方向へと継続していきたい。

※大江学園 各部署掲示をもって「公表」することとします。

平成30年度 大江学園 自己評価

【 集計 】

理念・基本方針		評価			
1	理念と基本方針が明文化されている	29年度	A	B	C
			31	4	0
		30年度	89%	11%	0%
			34	0	0
		100%	0%	0%	
比較・考察		+11%			
2	理念と基本方針が利用者・職員に周知されている	29年度	A	B	C
			26	9	0
		30年度	74%	26%	0%
			24	10	0
		71%	29%	0%	
比較・考察		-3%			
事業計画の策定		評価			
3	中・長期的な計画を踏まえた事業計画が策定されている	29年度	A	B	C
			22	12	1
		30年度	63%	34%	3%
			31	3	0
		91%	9%	0%	
比較・考察		+28%			
4	事業計画の策定が組織的に行われ、利用者・職員に周知されている	29年度	A	B	C
			19	14	2
		30年度	54%	40%	6%
			20	14	0
		59%	41%	0%	
比較・考察	(意見)利用者への周知は出来ていないと思う。(複数)	+5%			
管理者の責任とリーダーシップ		評価			
5	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している	29年度	A	B	C
			23	11	1
		30年度	66%	31%	3%
			30	4	0
		88%	12%	0%	
比較・考察		+22%			

6	業務の質の向上や、効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している		A	B	C	無回答
		29年度	12	21	2	
			34%	60%	4%	
		30年度	20	14	0	
59%	41%		0%			
比較・考察		+25%				
7	管理者は、利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている		A	B	C	
		29年度	19	16	0	
			54%	46%	0%	
		30年度	27	7	0	
79%	21%		0%			
比較・考察		+25%				
8	管理者は職員の意見や要望を聴く場を設けている。		A	B	C	
		29年度	23	12	0	
			66%	34%	0%	
		30年度	25	9	0	
74%	26%		0%			
比較・考察		+8%				
人材の確保・養成			評価			
9	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている		A	B	C	
		29年度	15	18	2	
			43%	51%	6%	
		30年度	23	11	0	
68%	32%		0%			
比較・考察	(意見)客観性や透明性の確保が充分とはいえない。	+25%				
10	必要な人員や、就業状況を把握し必要に応じて改善する仕組みがある		A	B	C	無回答
		29年度	4	21	10	
			11%	60%	29%	
		30年度	16	18	0	
47%	53%		0%			
比較・考察	(意見)人材確保が困難な状況ではあるが、人員不足により業務に支障をきたしている状況である。(複数) -学園の強みをもっと出して行けば人材確保に繋がると思う。	+36%				
11	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。		A	B	C	無回答
		29年度	18	17	0	
			51%	49%	0%	
		30年度	29	5	0	
85%	15%		0%			
比較・考察		+34%				

12	職員の教育・研修が計画的に実施され、定期的な見直しも行われている	29年度	A	B	C	無回答
			18	17	0	
		30年度	0.51	0.49	0	
			24	10	0	
比較・考察		+20%				
13	実習生の受け入れと育成を、積極的に行っている	29年度	A	B	C	
			27	7	1	
		30年度	77%	20%	3%	
			33	1	0	
比較・考察		+20%				
14	職員が支援等に関する悩みを相談することのできる体制を整えている	29年度	A	B	C	無回答
			17	16	2	
		30年度	48%	46%	6%	
			22	12	0	
比較・考察	(意見)経験年数が浅い職員に対しての、具体的なスキルアップが出来ているか達成度をはかる指数が具体的にあればと思う。・不十分である(複数)	+17%				
安全管理			評価			
15	災害時・事故・感染症等の緊急時における、利用者の安全確保のための体制が整備されている。	29年度	A	B	C	無回答
			27	7	0	1
		30年度	77%	20%	0%	3%
			30	4	0	
比較・考察	(意見)利用者のために出来ることが未だ完璧ではない。	+11%				

地域との交流と連携		評価				
		A	B	C		
16	ボランティア受け入れ等、地域との関わりを大切にしている	29年度	25	10	0	
			71%	29%	0%	
		30年度	30	3	1	
			88%	9%	3%	
比較・考察		+17%				
17	関係機関との連携を適切に行っている	29年度	27	8	0	無回答
			77%	23%	0%	
		30年度	32	2	0	
			94%	6%	0%	
比較・考察		+17%				
18	地域の福祉ニーズを把握したうえで、事業・活動が行われている	29年度	24	11	0	無回答
			69%	31%	0%	
		30年度	28	6	0	
			82%	18%	0%	
比較・考察	(意見)地域交流の行事など、交流や連携は出来ていると思う。	+13%				
利用者本位の福祉サービス		評価				
		A	B	C		
19	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取り組みを行っている	29年度	26	9	0	
			74%	26%	0%	
		30年度	28	6	0	
			82%	18%	0%	
比較・考察		+8%				
20	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している	29年度	24	11	0	無回答
			69%	31%	0%	
		30年度	29	5	0	
			85%	15%	0%	
比較・考察		+16%				
21	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組みを行っている	29年度	26	9	0	
			74%	26%	0%	
		30年度	30	4	0	
			88%	12%	0%	
比較・考察		+14%				

22	相談・苦情解決の仕組みが確立され、十分に周知・機能している	29年度	A	B	C		
			23	12	0		
		30年度	66%	34%	0%		
			27	7	0		
				79%	21%	0%	
比較・考察			+13%				
23	施設内で虐待事案発生時の対応方法などを具体的に文章化している	29年度	A	B	C		
			28	7	0		
		30年度	80%	20%	0%		
			32	2	0		
				94%	6%	0%	
比較・考察			+14%				
24	施設内で虐待事案が発生した場合の再発防止策等を、具体的に文章化している	29年度	A	B	C		
			23	12	0		
		30年度	66%	34%	0%		
			31	3	0		
				91%	9%	0%	
比較・考察			+25%				
25	利用者からの意見等に対して具体的に対応している	29年度	A	B	C		
			22	13	0		
		30年度	63%	37%	0%		
			24	10	0		
				71%	29%	0%	
比較・考察	(意見)利用者からの意見等に対しての迅速な対応は不十分なところもある。		+8%				
サービスの質の確保			評価				
26	サービスの内容について、定期的に評価を行う体制を整備している	29年度	A	B	C	無回答	
			30	5	0		
		30年度	86%	14%	0%		
			30	4	0		
				88%	12%	0%	
比較・考察			+2%				
27	評価の結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て、実施している	29年度	A	B	C	無回答	
			28	7	0		
		30年度	80%	20%	0%		
			27	7	0		
				79%	21%	0%	
比較・考察			-1%				

28	提供するサービスについて、標準的な実施方法が文書化され、サービスが提供されている	29年度	A	B	C	無回答	
			27	8	0		
		30年度	77%	23%	0%		
			30	4	0		
				88%	12%	0%	
比較・考察				+11%			
29	利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。それらについての管理体制が確立している	29年度	A	B	C	無回答	
			27	8	0		
		30年度	77%	23%	0%		
			29	5	0		
				85%	15%	0%	
比較・考察	(意見)生活記録のデータに目標も入力しているので、目標に沿うような実施記録となるよう周知を図っていきたい。記録の管理については明確とは言えない。(期間、方法等)			+8%			
サービスの開始・継続				評価			
30	利用者の希望するサービスを尊重し、開始にあたって適切に説明し、同意が得られている	29年度	A	B	C	無回答	
			27	8	0		
		30年度	77%	23%	0%		
			25	9	0		
				74%	26%	0%	
比較・考察				-3%			
31	事業所の変更、家庭への生活移行等にあたり、サービスの継続性に配慮した対応を行っている	29年度	A	B	C	無回答	
			26	9	0		
		30年度	74%	26%	0%		
			26	8			
				76%	24%	2%	
比較・考察	(意見)アフターケアなど出来ていると感じる。			+2%			
サービス実施計画の策定				評価			
32	適切なアセスメントに基づき、サービス実施計画が策定されている	29年度	A	B	C	無回答	
			28	7	0		
		30年度	80%	20%	0%		
			31	3	0		
				91%	9%	0%	
比較・考察				+11%			
33	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている	29年度	A	B	C	無回答	
			28	7	0		
		30年度	80%	20%	0%		
			28	6	0		
				82%	18%	0%	
比較・考察	(意見)評価・見直しについては、もう少し検討する時間、確認が必要と感じることがある。			+2%			

利用者の尊重		評価				
34	職員の接し方について、利用者をひとりの個人として尊重する取り組みを行っている	29年度	A	B	C	無回答
			22	12	0	1
比較・考察		30年度	63%	34%	0%	3%
			25	9	0	
			74%	26%	0%	
			+11%			
35	利用者の主体的な活動を尊重している	29年度	A	B	C	
			22	13	0	
比較・考察	(意見)職員の人数不足で、職員主体の活動になることが多々ある。	30年度	63%	37%	0%	
			23	11	0	
			68%	32%	0%	
			+5%			
36	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている	29年度	A	B	C	
			15	18	2	
比較・考察	(意見)利用者の主体的な活動をもっと進めるためには、職員の数がもう少し必要。(複数)	30年度	43%	51%	6%	
			23	11	0	
			68%	32%	0%	
			+25%			
日常生活支援		評価				
37	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく楽しく食べられるように工夫されている。またその内容がサービス実施計画に反映されている	29年度	A	B	C	
			28	7	0	
比較・考察	(意見)利用者や職員の意見が反映されないと感じることもある。(副菜、量等)	30年度	80%	20%	0%	
			28	6	0	
			82%	18%	0%	
			+2%			
38	喫食時間に配慮している	29年度	A	B	C	無回答
			25	9	0	1
比較・考察		30年度	71%	26%	0%	3%
			30	4	0	
			88%	12%	0%	
			+17%			
39	入浴は利用者の障害程度や介助方法など個人的な事情に配慮し、希望に沿って行われている	29年度	A	B	C	
			20	14	1	
比較・考察		30年度	57%	40%	3%	
			26	7	1	
			76%	21%	3%	
			+19%			

			A		C	無回答
40	浴室・脱衣場等の環境は適切である	29年度	28		7	
			80%		20%	
		30年度	29		5	
			85%		15%	
比較・考察	(意見)お風呂場の衛生面の不安、整備状況、生活環境の改善が必要。(複数)		+5%			
41	排泄介助は清潔で快適な環境の中で行われている	29年度	A		C	
			26		9	
		30年度	74%		26%	
			30		4	
比較・考察	(意見)寮内でプラグ交換、ストマ交換を行う際に、適切な空間が確保できていない。(複数)		+14%			
42	利用者の好みや個性を尊重し、清潔で適切な衣類の選択を支援している	29年度	A	B	C	
			25	8	2	
		30年度	71%	23%	6%	
			26	8	0	
比較・考察			+5%			
43	理髪店や美容院の利用について、利用者の好みを尊重した支援を行っている	29年度	A	B	C	
			26	9	0	
		30年度	74%	26%	0%	
			20	13	1	
比較・考察	(意見)女子利用者の散髪については、今のところ近づく、自力で散髪に行ける利用者さんは不便に感じていると思う。		-15%			
44	安眠できるように配慮している	29年度	A		C	
			32		3	
		30年度	91%		9%	
			30		4	
比較・考察			-3%			
45	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる	29年度	A	B	C	
			29	6	0	
		30年度	83%	17%	0%	
			30	4	0	
比較・考察			+5%			

46	内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている	29年度	A		C	
			35		0	
		30年度	100%		0%	
			33		1	
		97%		3%		
比較・考察			-3%			
47	余暇・レクリエーションは利用者の希望に沿って行われている	29年度	A	B	C	
			18	17	0	
		30年度	51%	49%	0%	
			21	13	0	
		62%	38%	0%		
比較・考察			+11%			
48	外泊(帰省)は利用者の希望に沿って行われている	29年度	A	B	C	
			22	13	0	
		30年度	63%	37%	0%	
			23	11	0	
		68%	32%	0%		
比較・考察			+5%			
49	預り金について、適切な管理体制が作られている	29年度	A	B	C	
			29	6	0	
		30年度	83%	17%	0%	
			28	6	0	
		82%	18%	0%		
比較・考察			-1%			
50	新聞・雑誌の購読やテレビ視聴について、利用者の意志や希望に沿って利用できる	29年度	A		C	無回答
			32		2	1
		30年度	91%		6%	3%
			31		3	
		91%		9%		
比較・考察			±0			